

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	医療法人社団 はっぴねす	代表者	本田誠四郎	法人・ 事業所 の特徴	その人らしく、住みなれた環境で出来るだけ長く生活を維持することを目的として、当法人ならではの介護と医療の両輪でスムーズな連携を活かした継続的かつ専門的な認知症ケアを提供している。また急変時や特変時・緊急時にも柔軟に対応しながら、ご利用者の状態変化に合わせてサービス提供内容の変更を常時行っており、住み慣れた地域での生活を維持できるよう支援している。
事業所名	こころ庵	管理者	今川智恵		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	人	1人	1人	人	2人	人	人	3人	人	7人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取り組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	各個職員の役割を大切に、お互い助け合う事のできるチーム作りに取り組み、チーム全体の士気を高め、よりよいケアに繋げていく。	職員それぞれが役割を担い、意見やアイデアを出し合いながら、様々な工夫をこらしたケアに繋げる事ができている。チーム全体で取り組んだ看取りケアにおいても、各職員が責任を持ちケアにあたり、ご家族よりこころに入れた事が一番の親孝行だと言ってもらえた。	家族ではしてあげることが出来ない事をいつも懇切丁寧に下さり、本当に感謝しております。職員さんは本当によく動かれ、大変な中いつも笑顔で対応して下さいます。	こころ庵は生活の場であるので、皆さんが心地よい状態で過ごして頂けるケアをこれからも皆で考えて行く。ご利用者の良い所を見つけ、肯定的なケアに繋げていく。背景を知り今の状態を認めていき、捉え方やケアの工夫をする事でご利用者にとって心地よい居場所となるよう取り組んでいく。
B. 事業所のしつらえ・環境	こころ庵にいと落ちつくとおっしゃっていただける環境作りをこれからも継続していき、心から安心して過ごせる居場所となるよう努めていく。	ご利用人数が増え、忙しさが増す中でも、事故のないよう環境整備を行い、安全に過ごしていただけるよう配慮を行っている。ご家族にご協力いただきながら、一緒にケアをしていただける環境作りとその中で色々なご意見をいただきながら、改善にも取り組んでいる。	いつも来て頂いても、居心地のよい空間で、落ち着いた雰囲気となっている。古風ですてきな環境の中で過ごさせて頂くので、皆さん落ち着かれるのではないかと思います。家族も気軽に出入りしやすく、なにかあればすぐに報告や対応もして下さるので、安心してお任せ出来ています。	こころ庵はご家族の協力や支えがあってこそ成り立っていくので、これからもご家族・地域の方が気軽に来所しやすい、開かれた施設作りを行っていく。
C. 事業所と地域のかかわり	地域との支え合いを大切に、困った時には気軽に相談していただく事ができる場所としての機能を果たしていく。地域との繋がりが、よりよい関係で継続できるように、地域行事・サロン・イベントにも積極的に参加していく。	地域の中で生活できている実感をご利用者と味わうために色々なイベントにも参加し楽しんでいる。ご利用者も事前にとっても楽しみにされている方も多く、ご期待に添えるような企画を考え実践している。	地域での認知度は病院を窓口としてはあると思います。小規模多機能というサービスはまだあまり知らない方も多いと思いますが、働いている方にとって時間の融通がきく使いやすいサービスです。今回はこころ祭りの大きなイベントでこころの認知度を知る事ができた。	地域の中で医療との連携の強いサービスとして知っていただき、こころ庵ならではの利便性を活かしたサービスをこれからも提供していく。
D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取り組み	地域に出向いて地域と連携しながら包括ケアができるよう、地域密着型サービスの小規模多機能としての強みを活かした柔軟なサービスを考え提供していく。	地域へ出向く機会は毎年恒例行事に加え、何か新しい事も探しながらアンテナをはり探っている。認知症の進行と身体状況の変化に伴い、地域での生活が困難となっている方々も多い。が、ご家族が頑張れる方は一緒に最大まで地域での生活が維持できるよう柔軟な支援を行っている。	本当に色々な行事やイベントに参加させて頂き、お忙しい中大変よくして下さいと思っております。外出行事の写真も見せていただきますが、皆さん表情も活き活きとされており、楽しまれている様子がうかがえます。家族も一緒に行かせていただき一緒に楽しむ事ができており、感謝しております。	外出行事がお好きな方・向いている方、身体状況から難しい方もいるが、どの方もそれぞれ楽しめるような多種多様な企画を考えていき、選べるイベントを内外でも提供できるよう取り組んでいく。
E. 運営推進会議を活かした取り組み	運営推進会議の意見交換会等のご意見を参考に、地域密着型サービスである小規模多機能として、これからの高齢化社会の支え方を幅広い視野で考えていく。	運営委員の皆様のお言葉に感謝しながら、毎回よりよい報告ができるように、サービス内容の充実とケアの向上に取り組んでいる。ますます拍車のかかる高齢化に小規模のニーズは高まる中、こころ庵の良さを活かしたケアを追求していく。	いつも詳細なご報告をしていただき、写真スナップブックにて皆さんの表情や様子も知る事ができています。会議での意見も医療的な事は先生がお答え下さり、介護の事はケアマネージャーや施設の方々がアドバイスを下さるのでよく分かります。	事業所の取り組み内容や行事の報告、看取りがある時は可能な範囲でのご報告やご本人・ご家族の様子を会議でお伝えする事で、様々なご意見も伺い、更なるケアの向上に繋げていく。
F. 事業所の防災・災害対策	実際の災害対応から得た知識を活かして、現実的な対策を行い、安全で安心してご利用して頂ける事業所作りを行っていく。	経験したからこそその怖さや大変さがわかり、また助け合いの大切さも身に染みて分かった。法人内でも連携をとりながら、災害時には力を合わせて乗り越える事もできた。台風や大雨などの際も常にご利用者の安全を気かけながら、慎重に考える習慣がついてきている。	最近台風だけでも被害状況がひどいので不安が大きい。実際の災害時に頼りになったので、今後もお互い協力しながら災害時には対応していきたいと思っています。	昔では考えられない規模の災害が各地でも起こっている中、事業所としてご利用者の安全確保を考え、避難先としての機能が活かせるよう取り組んでいかなければならない。こころ庵はご家族支援が得られる方々が多いので、ご家族と協力して役割分担を行いながら災害時の支援を行っていく。

